

2015年3月27日

公益社団法人 屋久島観光協会

平成27年度 事業計画書

1、固定経費の見直し

現在、空港事務所、安房案内所、宮之浦案内所の3か所の拠点を設置している。

案内業務の低下を招かないために3か所とも開設する。

但し、安房案内所・宮之浦案内所は家賃の安い場所へ移転し経費を削減する。

職員の増員はせず、現在の5名の職員でローテーションを組み回していく。(ゴールデンウィーク、夏休み期間などの繁忙期には臨時職員を補充する)

宿、ガイド、物販、交通の各部会において観光資料を作成し、それぞれの部署で観光客への案内業務を支援してもらう。

2、事業の見直し

ア、登山バスチケット販売

登山バスチケットの販売権は、一度屋久島山岳部車両対策協議会へ返納する。

案内所チケット販売業務としてのみ取り扱う。

イ、携帯トイレ販売事業

現在ある在庫の販売が終了したら、その後の携帯トイレ販売事業の継続のあり方を検討する。

ウ、登山道整備事業

登山道、避難小屋、山岳部トイレの管理に関する事業は、安全面・快適性を確保するために停止することができなため、ガイド部会以外に適切な受け入れ団体がないのであれば、観光協会が引き続き継続する。

エ、パンフレット等収益事業

これまで情報発信のアイテムとして作成、販売してきた年間10万部を超すパンフレット・チラシの作成は、今後屋久島町と統一を図り、一本化していく。

3、イベントの見直し

ア、海祭り

4月中旬 海岸清掃が中心で各集落の方々のご協力をいただいていたので継続していきたい。午後のアトラクションは各団体のボランティアに任せる。

イ、シャクナゲ登山

5月下旬 30年以上の歴史があるので規模を縮小して実施。

運営に関しては要検討。できるだけ経費が掛からない実施方法。

ウ、オープンウォータースイミング大会

7月初旬 人的支援のみ。会員の皆さんに応援を依頼する。
海開き神事は、海水浴場管理者である屋久島町に依頼する。

エ、御神山祭り

8月上旬 資金的援助は停止。人的支援のみ。

オ、屋久島夏祭り

8月中旬 人的支援のみ。会員の皆さんに応援を依頼する。

カ、やくしま森祭り

10月中旬 人的支援のみ。会員の皆さんに応援を依頼する。

キ、観光協会新年互礼会

経費の掛からない形で、交流を中心に開催する。

ク、サイクリング屋久島

2月中旬 人的支援のみ。会員の皆さんに応援を依頼する。負担金については削減する。

ケ、屋久島トレイルラン

2月中旬 人的支援のみ。会員の皆さんに応援を依頼する。

コ、屋久島森開き

3月上旬 自然休養林の管理者であるレク森に依頼。

4、信頼の回復

ア、委員会の開催

委員会は、協会業務を運営して行く上で重要な位置を占めるので責任有る委員会活動で事務局と共に協会の健全運営に当たる。

イ、各部会の開催

部会は、ガイド部会以外これまで殆ど活動していないのが現状なので、各部会の組織を強化充実させ、協会の健全運営への協力と部会毎に観光客への案内業務を充実する。

各イベントの積極的にかかわり、人的・物的支援などアイデアを出し合って盛り上げていく情報の共有化を図る。

ウ、ホームページの充実

タウンページ 会員紹介

Facebook によるリアルタイムの情報発信

エ、事務局体制の強化

職員の事務分担を明解にすると共に職務の共有を図る。

2か月に1度、協会三役並びに総務委員長を交えた事務局職員ミーティングを実施する。

信頼の回復のために、外部の税理士を入れて過去5年分の監査を実施する。

事業毎の予算差引簿等を整理し健全で節度有る透明な事務処理をする。

監事は、理事の職務の執行を年2度の監査を実施し理事会へ報告する。

経理係は、出納状況を2か月毎に書類により事務局長に報告し、事務局長はそれを受け

監事並びに総務委員長へ報告する事を義務とする。